

「WHO ARE YOU?」



《Who are you?》

【シナリオスペック】

PC人数：1～5名

脅威ランク：2～5

【選択追加ルール】

スキルルール

書籍版掲載のPC拠所・シナリオ拠所を採用するなら、脅威のランクを1ずつ上昇させて構いません。

シナリオ拠所は**ミスターX**を追う**刑事**、**柴崎弓**とするとよいでしょう。

【ソロ改変】

ソロシナリオに改変する場合は、書籍版掲載のPC人数による行動回数を参照しましょう。

追加ルールは、シナリオ拠所を採用し、シナリオ拠所は**柴崎弓**とし、脅威ランクは2となります。

【今回予告】

君たちは平凡な日常を過ごしている。

そのはずだった。

だが、ある朝、地方新聞の三面記事を見て、驚愕した。

「謎の怪盗、本誌記者が激写！」

そこに映っていたのは紛れもなく、自分だった。

【ストーリー】

自分そっくりの何者かが、紙面を騒がすというミステリー調？のシナリオです。中身はごくごく単純。『ボディミミック』と『パターン：カメレオン』を搭載した変身改造人間が当たり障りのない人物に化け、怪盗行為を繰り返していた、それだけです。しかしながら、彼が意図するとなしに無関係に。普通ならばそんなわけはないと片づけられる超常の犯罪は、PC達ならば再現することができてしまうのです。このまま放置していれば、いずれどこからかボロが出る。その前に手を打たなければなりません。

怪盗である『ミスターX』は当然、PCたちのことなど全く知りません。改造人間として造られ、そして自分の力を自分らしく使う方法を見つけただけにすぎません。彼、あるいは彼女は決まった形を持たず、行動でしか自分を表現できません。もともと、PCたちと敵対する意思は薄い彼、あるいは彼女ですから、和解自体は簡単に受け入れることでしょう。

【異音フェイズ】

異音フェイズではPC1から順番に新聞、あるいはテレビのニュースのどちらかを見る場面から始まります。

アナウンサー「巷を騒がす怪盗、ミスターXですが、このたび、その写真が公開されました」

そこに映っているのはどうみてもPC1です。

そして翌日にはPC2、その翌日にはPC3と、ミスターXと呼ばれる人物の写真はぐるぐると入れ替わり続けます。

アナウンサー「警察では、複数人による犯行とみて捜査を進めており……」

というところで異音フェイズの描写は終了です。

お互いがお互いに、ミスターXと呼ばれていることはPCたちも知っています。

一先ずPCたちは集まって相談してもらい、事件を解決する方向になったら異音フェイズは終了です。

もしシナリオ拠所を採用しているのであれば、柴崎弓がPC達に「しばらくはこっちで止めておく。その間になんとかして」と依頼させる形を取りましょう。

【脅威データ 1】

名前：ミスターX 出自：改造人間 性別：男？ 闇：30～50

特技：《超暗視》《超軟体》《超脚力》《変色》《皮》《爪》

スキル：『パターン：カメレオン』『ボディミミック』『※お巡りさん』

PC4名以上で追加：『※お巡りさん』

PC5名以上で追加：『※お回りさん』

補足：変身怪盗ミスターXです。攻撃能力に乏しく、基本的に『ボディミミック』を使用して特技をコピーすることで戦闘力を増していくタイプです。直接的な攻撃はほとんどできませんが、変身能力を使った『※お巡りさん』は脅威です。闇を蓄積させると追加1d6が入るこのスキルは、PCの動きを極端に制限するものとなります。ミスターXの最大の目的は『怪盗稼業を今後もつづけること』これにつきます。そのために決戦フェイズでは見逃してくれるよう、二度とPC達の姿は真似ないと懇願します。ミスターXにとって、怪盗は唯一自分だけが持つ称号であり、自分の証明です。もし、辞めさせたいのであれば、他の生き方を示してあげる以外にありません。ミスターXですが、姿かたちを自由自在に変えられるため、元の性別すらも忘れていますが、もとはと言えば女性です。

狂騒フェイズでは誘いを重点的に使います。これはPC達の姿を真似ることで噂を招き、無自覚に回りの評判を貶め、闇を増すという処理です。抛所の破壊については一切やらないでしょう。PCのことを知らないのもそうですが、美学として破壊を好まないというのが大きな理由です。また、『※お巡りさん』はPC達のことなど知らないわけですから、正体がばれるまでは積極的に使用しません。

決戦フェイズでは自衛のために戦いますが、『ボディミミック』のコストを考えると、既に満身創痕です。まともな戦いにはならないでしょう。



【情報】 ランク 2

項目 1 : ミスター X 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

ミスター X は最近噂になっている怪盗だ。

予告状を出し、価値の低い美術品や下手をすると文房具などを盗み出すことで有名。金銭目的ではなく、怪盗という行為自体が目的なのではないかと言われ、その被害額の低さから、割と愛されている人物でもある。

犯行現場では特徴的な爪痕が残されている。

既知の生物のどれとも一致しない爪痕のため、ミスター X の犯行は 1 人によるものであることが分かっている。

項目 2 : 足跡 指定特技 : 超暗視

公開タイミング : 3 サイクル目

現場に残された手がかりから、ミスター X のアジトと思われる家を特定。

ミスター X は君のしている目の前で、顔を君そっくりに変えると、人ごみの中へと逃げて行った。

ミスター X は以降、『ボディミミック』のスキルを使用し、PC の使用した特技をコピーする。

【情報】 ランク 3

項目 1 : ミスター X 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

ミスター X は最近噂になっている怪盗だ。

予告状を出し、価値の低い美術品や下手をすると文房具などを盗み出すことで有名。金銭目的ではなく、怪盗という行為自体が目的なのではないかと言われ、その被害額の低さから、割と愛されている人物でもある。

項目 2 : 犯行現場 指定特技 : 爪

公開タイミング : 項目 1 開示後

犯行現場では特徴的な爪痕が残されている。

既知の生物のどれとも一致しない爪痕のため、ミスター X の犯行は 1 人によるものであることが分かっている。

項目 3 : 足跡 指定特技 : 超暗視

公開タイミング : 3 サイクル目

現場に残された手がかりから、ミスター X のアジトと思われる家を特定。

ミスター X は君のしている目の前で、顔を君そっくりに変えると、人ごみの中へと逃げて行った。

ミスター X は以降、『ボディミミック』のスキルを使用し、PC の使用した特技をコピーする。

【情報】 ランク 4

項目 1 : ミスター X 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

ミスター X は最近噂になっている怪盗だ。

予告状を出し、価値の低い美術品や下手をすると文房具などを盗み出すことで有名。金銭目的ではなく、怪盗という行為自体が目的なのではないかと言われ、その被害額の低さから、割と愛されている人物でもある。

項目 2 : 犯行現場 指定特技 : 爪

公開タイミング : 項目 1 開示後

犯行現場では特徴的な爪痕が残されている。

既知の生物のどれとも一致しない爪痕のため、ミスター X の犯行は 1 人によるものであることが分かっている。

項目 3 : 足跡 指定特技 : 超暗視

公開タイミング : 項目 2 開示後、2 サイクル目以降

現場に残された手がかりから、ミスター X のアジトと思われる家を特定。

ミスター X は君のしている目の前で、顔を君そっくりに変えると、人ごみの中へと逃げて行った。

ミスター X は以降、『ボディミミック』のスキルを使用し、PC の使用した特技をコピーする。

項目 4 : ミスター X の心情 指定特技 : 変色

公開タイミング : 項目 3 開示後

ミスター X は高度な変身能力を持ち、それゆえ自我が不安定である。そのため、『怪盗』という評価に固執しており、邪魔をされたくない。ミスター X は以降、『※お巡りさん』を使用し、PC 達の行動を妨害する。

【情報】 ランク 5

項目 1 : ミスター X 指定特技 : なし

公開タイミング : 異音フェイズ

ミスター X は最近噂になっている怪盗だ。

予告状を出し、価値の低い美術品や下手をすると文房具などを盗み出すことで有名。金銭目的ではなく、怪盗という行為自体が目的なのではないかと言われ、その被害額の低さから、割と愛されている人物でもある。

項目 2 : 犯行現場 の調査ができるようになる。

項目 2 : 犯行現場 指定特技 : 爪

公開タイミング : 項目 1 開示後

犯行現場では特徴的な爪痕が残されている。

既知の生物のどれとも一致しない爪痕のため、ミスター X の犯行は 1 人によるものであることが分かっている。

項目 3 : 足跡 指定特技 : 超暗視

公開タイミング : 項目 2 開示後、2 サイクル目以降

現場に残された手がかりから、ミスター X のアジトと思われる家を特定。

ミスター X は君のしている目の前で、顔を君そっくりに変えると、人ごみの中へと逃げて行った。

ミスター X は以降、『ボディミミック』のスキルを使用し、PC の使用した特技をコピーする。

項目 4 : ミスター X の心情 指定特技 : 変色

公開タイミング : 項目 3 開示後

ミスター X は高度な変身能力を持ち、それゆえ自我が不安定である。

そのため、『怪盗』という評価に固執しており、邪魔をされたくない。

ミスター X は以降、『※お巡りさん』を使用し、PC 達の行動を妨害する。

項目 5 : ミスター X の秘密 指定特技 : 超軟体

公開タイミング : 項目 3 開示後

ミスター X は姿かたちを自由自在に変形できる。

そのため、本人は忘れていたが、もともとの性別は女性である。

画像はジュエルセイバーFREEからお借りしています。

URL : <http://www.jewel-s.jp/>